

# 令和4年度 事業報告書

一般社団法人南房総市シルバー人材センター

## 1. 概 況

我が国の構造的な問題である少子高齢化の進展を背景として、将来にわたり労働力人口の減少が見込まれる中、高年齢者のなお一層の活躍が期待されています。一方、高年齢者の雇用就労ニーズの多様化等、社会環境が変化する中で、経済等地域社会の活力を維持していくためには、高年齢者が自ら培った知識や経験を活かし、地域社会の多様な就労をとおし、健康で生きがいを持って生活が送れるよう、なお、一層の環境整備が必要となっています。

こうした中、当シルバー人材センターでは、国の施策の方向性等を的確に把握しつつ、公益社団法人千葉県シルバー人材センター連合会とも十分な連携を図りながらシルバー事業の推進に努めてまいりました。

シルバー人材センターの就業をめぐることは、法令遵守が求められていることを踏まえ「安全で適正な就業」と「誠実で丁寧な仕事」を心がけ、事業を推進してきましたが、令和4年度末の会員数は173名で前年度末より10名減少しました、受託事業の契約額では対前年度比6.9%、2,220,427円の増となっています。

年間受注件数	目標	1,400件	実績	1,592件
年間契約金額				
請負	目標	32,000千円	実績	34,422,408円
派遣	目標	800千円	実績	128,621円
年間就業延日人員	目標	6,000人	実績	6,575人
年度末会員数	目標	200人	実績	173人

以上のような状況となっています。

以下、令和4年度事業について実績を報告します。

## 2. 事業活動基本方針について

法令遵守が求められていることを踏まえ「安全で適正な就業」と「誠実で丁寧な仕事」を心がけることに努めました。また、ホームページへの掲載・地元新聞への掲載など就業機会の拡大に努めました。

## 3. 事業内容について

### (1) 普及啓発活動の促進

センターホームページ、地元新聞への掲載等によるPR活動に努めました。今年度からハローワークでの相談会を館山市と南房総市シルバー合同により実施し、新規会員の加入効果があった。

## (2) 安全就業意識の徹底

県の安全・適正就業委員研修会に本部職員1名がオンライン研修に参加し、意識向上に努めました。また、支部ごとに毎月、安全就業パトロールを実施し安全就業に努めました。

## (3) 就業機会の開拓と拡充

契約額等については概況で記述しましたが、高齢化の著しい当地域にあって、女性会員の増強に努めてきましたが、大変難しい状況でした。

公共事業の契約率を上げるため、市への要望を行い20%程度140万円の増額となり、企業等では、1社の撤退があり29%、230万円の減額となりました、家庭からの受注では、18%、310万円の増額となりました。

また、県シ連主催による高齢者活躍人材確保育成事業の一環として安房地域（館山市・鴨川市・南房総市）のシルバー人材センターによる会員募集チラシ作成を行い、PRを行いました。

派遣事業は、現在1社で2名の派遣会員が就業しておりますが、今後、新たな就業拡大に努めていきます。

## (4) 適正就業の推進

シルバー人材センター事業の基本であります「臨時的・短期的・軽易」な作業についての法令に基づいた適正就業に努めてきました。今後とも法令遵守により適正就業に努めていきます。

## (5) 就業率の向上

令和4年度の実就業率は60.7%で低率となっており、この要因は、未就業会員のニーズと受注内容のミスマッチが原因の一つと思われる。

また、就業機会の開拓と合わせて未就業会員の解消を組織的に取り組んでいく必要があります。

## (6) 会員組織の強化と充実

自主・自立・共働・共助の精神のもと会員相互の連携は重要であるという認識のもと、会員相互の協力体制の強化に努めました。また、シルバー人材センター運営等の安定化に向けた組織等を見直す中、令和5年度に於いて会員へのアンケート調査を行い、経営改善計画を策定し、その計画を着実に進めます。